

# Gakken Value Report

## 第65期IR中間報告書

平成21年10月1日～平成22年3月31日

**Gakken** 株式会社 学研ホールディングス  
HOLDINGS



# Gakken Value 宣言

## グループ企業理念

私たち学研グループは  
すべての人が心ゆたかに生きることを願い  
今日の感動・満足・安心と  
明日への夢・希望を提供します。

## 経営ビジョン

あらゆる価値を融合し、  
**Gakken Value** の追求により、  
新たな学研を創造します。

## CONTENTS

- 1 ▶ 株主の皆様へ
- 2 ▶ 連結業績の概況
- 3 ▶ 連結業績ハイライト
- 4 ▶ セグメント インフォメーション
- 12 ▶ **特集** ありがとう  
「科学」と「学習」
- 13 ▶ 連結財務諸表
- 16 ▶ 会社概要
- 17 ▶ 株式の状況

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第65期IR中間報告書(平成21年10月1日～平成22年3月31日)をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期までの国内経済は、景況感の改善が見られたものの、設備投資や雇用の過剰感は根強く、景気の自律回復力は依然として弱く、デフレ基調が鮮明となる中、個人消費が上向くまでに至らないまま推移いたしました。出版事業を取り巻く環境も引き続き厳しい状況のまま推移しておりますが、多機能携帯端末の普及に伴い、業界では電子書籍への本格的な取り組みがスタートいたしました。また、国の脱ゆとり教育への方針転換や高齢者福祉・子育て支援へのニーズの高まりなどを受け、教育事業や福祉関連事業の外部環境には改善の兆しが見られました。

このような状況の中で、当社グループは、教室・塾事業の拡大や、コスト削減などが功を奏し、損益は前年同期に比べ大幅に改善いたしました。また、持株会社制移行と決算期変更を実現したことにより、従前にも増して、諸々の改革にスピーディーに取り組める経営体制が整いつつあります。今般の持株会社制移行を「第二の創業」と位置づけて、「自主独立経営の強化と役割の明確化」を推し進め、業績の向上に全社一丸となって取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様には、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



代表取締役社長  
遠藤 洋一郎

## 連結業績の概況

当社グループは、グループ経営計画「Gakken2011」に基づき、教室・塾事業の展開、高齢者専用賃貸住宅や保育施設の開業などの事業拡大を行うとともに、雑誌事業の選択と集中や家庭訪問販売事業の縮小・撤退を進めてまいりました。さらに、経営戦略や事業戦略の機動的な遂行のため、平成21年10月1日より持株会社制へ移行しました。

**売上高** **43,242**百万円(前年同期比1,568百万円減少)

当第2四半期連結累計期間の業績では、高齢者福祉・子育て支援事業の伸長や、学習塾運営会社など数社が新たに連結子会社に加わったものの、既存事業の売上の減少や不採算事業の縮小・撤退などにより、売上高は前年同期に比べ1,568百万円減少の43,242百万円となりました。

**営業利益** **3,452**百万円(前年同期比385百万円増加)

**経常利益** **3,383**百万円(前年同期比349百万円増加)

**四半期純利益** **1,852**百万円(前年同期比2,293百万円改善)

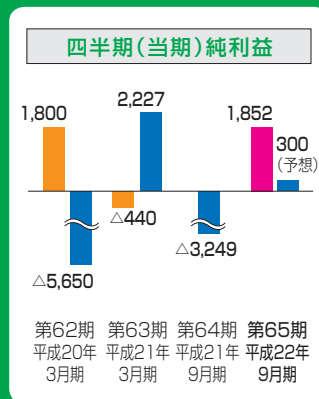
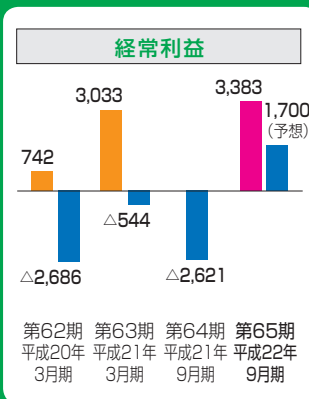
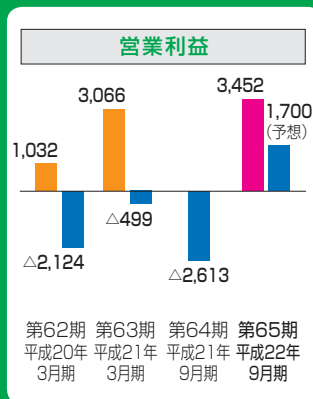
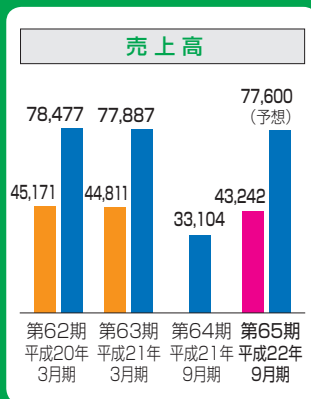
損益面では、事業構造の見直し、人件費やソフトウェア費用などの固定費の削減により、営業利益は前年同期に比べ385百万円増加の3,452百万円、経常利益は3,383百万円、四半期純利益は、家庭訪問販売事業の事業整理損失引当金繰入額の特別損失計上などにより、1,852百万円となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、見送らせていただくことにいたしました。

2

## 連結業績ハイライト

■ 第2四半期(累計) ■ 下半期 ■ 通 期 (単位:百万円)



(注) 従来3月決算であったものを第64期から9月決算に変更しており、第64期は平成21年4月1日から9月30日までの6か月間となっております。

第62期、第63期につきましては、よりわかりやすくするために当第2四半期との対比として、3月決算であったときの同期間(10月1日～3月31日)である下半期の業績を掲載しております。

3

## セグメント インフォメーション（営業の概況）

### その他事業 10.5%

高齢者福祉事業、子育て支援事業、文具・雑貨事業、デジタルコンテンツ事業、物流事業など、幅広い世代のさまざまなライフシーンに貢献する事業を推進しています。

### 暮らし・教養・エンタメ出版事業 22.1%

料理・マナー・子育てから、芸能・歴史・宗教・スポーツなど、あらゆるジャンルを網羅したさまざまな雑誌群をはじめ、暮らしに役立つ実用書やビジネスにも使える教養書など、多様なラインナップを提供しています。

### 学び・児童出版事業 17.9%

絵本・図鑑・読み物など、子どもの成長や知的好奇心にあわせた多様な出版物。幼児から大人まであらゆるニーズに対応した学習参考書・教育書・辞事典類。デジタル機器向けコンテンツの制作。学研ならではの科学教育事業など、あらゆる「学び」を強力にサポートしています。

### 教室・塾事業 24.6%

0歳から大人までのすべての層に、塾、家庭学習、通信、家庭教師、E-Learning、能力開発、キャリア教育という多様な学習機会を提供することにより、お客様に喜ばれる総合教育事業を展開しています。

### 園事業 15.5%

幼稚園・保育園のフィールドを中心に、人間形成でもっとも大切な幼児期を、遊具や備品、雑誌や図書から、園児服やおやつまで、また、保育者向けには講習会や教室などでサポートしています。

### 学校事業 6.6%

“教育の学研”として、創業以来培ってきた多様なコンテンツを活用し、教科書・副読本・映像・模試などによって学校現場を強力にサポートしています。

### 家庭訪問販売事業 2.8%

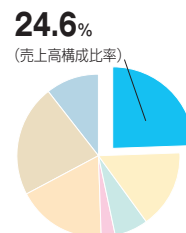
乳幼児から小中高生向け家庭学習用教材を中心に、役に立つ子育て情報や教育情報もお届けしています。また、一般書籍、健康関連商品などもご家庭にお届けしています。

売上高  
構成比率

売上高 **10,685** 百万円  
(前年同期比**23.7%**増)

営業利益 **1,104** 百万円  
(前年同期比**50**百万円増)

セグメント インフォメーション



売上高は、「学研教室」や「CAIスクール」の教室数・生徒数の増加、株式会社創造学園や株式会社早稲田スクールなどが連結子会社に加わったことにより、大きく伸長しました。営業利益は、直営教室の立ち上げにかかる初期投資費用の増加があったものの、「CAIスクール」や塾運営会社の伸長などにより、増加しました。

その結果、当事業の売上高は、前年同期と比べ23.7%増の10,685百万円、営業利益は、前年同期と比べ50百万円利益増の1,104百万円となりました。

教室・塾事業



▲ 多様な教室・塾を展開中

売上高

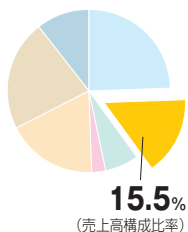
6,702百万円

(前年同期比3.4%減)

営業利益

542百万円

(前年同期比157百万円増)



『よいこのかくしゅう』▶▶



◀ お遊戯会

セグメント インフォメーション



◀『新・中学保健体育』

▲『みんなのどうとく』

◀『基礎小論文書き方ノート』

セグメント インフォメーション

売上高

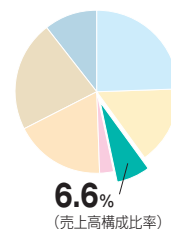
2,860百万円

(前年同期比2.8%増)

営業利益

446百万円

(前年同期比174百万円増)

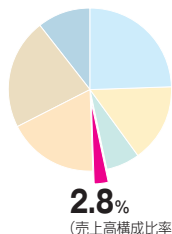


売上高は、道徳副読本の伸長や、教育DVDソフトの新商品の発売により増加しました。営業利益は、売上高の増加や販売費の削減効果により、増加しました。

その結果、当事業の売上高は、前年同期と比べ2.8%増の2,860百万円、営業利益は、前年同期と比べ174百万円利益増の446百万円となりました。

売上高 **1,194**百万円  
(前年同期比**35.6%**減)

営業利益(損失) **△4**百万円  
(前年同期比**94**百万円利益減)



『ファースト  
イングリッシュ  
トーキングセット』



『ベスト教科事典』



▲『原色ワイド図鑑』

売上高は、平成20年10月に月刊教材の事業撤退を決定し、あわせて平成21年12月に「学習」「科学」の休刊、および学習セット教材事業の縮小を決定したことにより、減少しました。営業損益は、売上高の減少により、利益が減少しました。

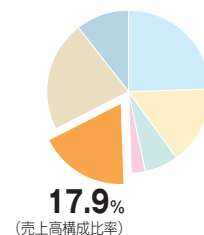
その結果、当事業の売上高は、前年同期と比べ35.6%減の1,194百万円、営業損益は、前年同期と比べ94百万円利益減の4百万円の損失となりました。

セグメント インフォメーション

セグメント インフォメーション

売上高 **7,725**百万円  
(前年同期比**1.2%**減)

営業利益 **760**百万円  
(前年同期比**377**百万円減)



売上高は、少女向け読み物「一期一会シリーズ」や大人の科学マガジン「二眼レフカメラ」「ミニエレキ」のヒットがあったものの、返品率改善を目的とした学習参考書や辞典の新年度送品の絞込みや、実用書の発売点数が前年に比べて少なかったことから、減少しました。営業利益は、棚卸資産評価損や販管費の増加により、減少しました。

その結果、当事業の売上高は、前年同期と比べ1.2%減の7,725百万円、営業利益は、前年同期と比べ377百万円利益減の760百万円となりました。



▲『中学国語を  
ひとつひとつ  
わかりやすく。』

『月刊ナーシング』▶

『一期一会 世界一の親友。』▼

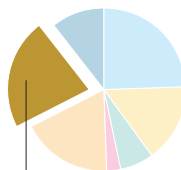
▼『石川遼～世界への挑戦～』



『星のボディ。』



▼『Mr.マリックの超カードマジック』



22.1%  
(売上高構成比率)

売上高 **9,550**百万円  
(前年同期比**9.9%**減)

営業利益 **368**百万円  
(前年同期比**247**百万円増)

売上高は、雑誌の休刊や販売部数の減少、景気後退による広告収入の減少、ムックや一般書のジャンルの精選を行ったことなどにより、減少しました。営業利益では、不採算雑誌休刊やネット事業縮小による改善、販管費の削減により、改善しました。

その結果、当事業の売上高は、前年同期と比べ9.9%減の9,550百万円、営業利益は、前年同期と比べ247百万円利益増の368百万円となりました。

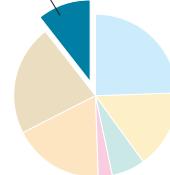
セグメント インフォメーション

セグメント インフォメーション

売上高 **4,522**百万円  
(前年同期比**26.9%**減)

営業利益 **241**百万円  
(前年同期比**227**百万円増)

10.5%  
(売上高構成比率)



売上高は、高齢者専用賃貸住宅やこども園・保育園が開業し、文具・雑貨事業が好調に推移しましたが、不採算事業の撤退、物流事業での大型受託の解約により、減少しました。営業利益では、高齢者福祉・子育て支援事業や文具・雑貨事業の伸長、不採算事業の撤退により、改善しました。

その結果、当事業の売上高は、前年同期と比べ26.9%減の4,522百万円、営業利益は、前年同期と比べ227百万円利益増の241百万円となりました。



◀「ココファン日吉」



▲「ココファン・ナースリー 浜田山」



◀「コーネルメソッドノート」

# 特集 ありがとう 「科学」と「学習」

## 『科学』『学習』のDNAは 永遠に不滅です!

学研の創業商品である昭和21年創刊の『学習』は“「できる」よこびと深く学びとるチカラを”を、昭和32年創刊の『科学』は“小さな発見・大きな感動・科学っておもしろい!”をコンセプトに、全国の小学生に50年以上の長きにわたって愛され親しまれてまいりました。

昭和54年には670万部の最高部数を記録し、



現在30代、40代の読者で『科学』と『学習』によって、科学する心、学びの心を育まれた方々も少なくないことと存じます。しかしながら市場環境の変化等により、平成21年度末をもちまして『科学』『学習』は休刊させていただくこととなりました。

皆様の長年にわたるご愛顧と応援に、心より感謝を申し上げます。まことにありがとうございます。

『科学』『学習』で培った貴重な資産とノウハウは、『大人の科学マガジン』『科学実験教室』などグループ各社の企画開発に活用されております。今後のより意欲的な取り組みにご期待ください。

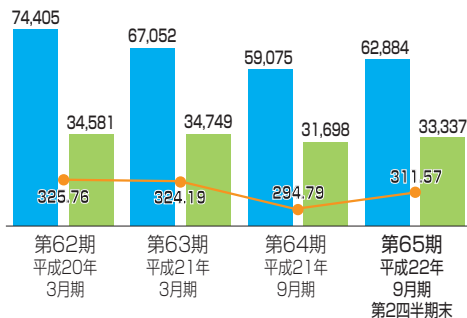
## 連結財務諸表 (注) 前期より決算期を3月から9月へ変更しているため、前年同期と前期について掲載しております。

### ● 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成22年3月31日現在)	前年同期 (平成21年3月31日現在)	前 期 (平成21年9月30日現在)
<b>資産の部</b>			
流 動 資 産	44,110	49,892	40,857
固 定 資 産	18,774	17,160	18,218
有 形 固 定 資 産	6,321	5,385	5,790
無 形 固 定 資 産	1,606	1,359	1,460
投資その他の資産	10,845	10,415	10,967
資 産 合 計	62,884	67,052	59,075
<b>負債の部</b>			
流 動 負 債	18,756	20,462	16,400
固 定 負 債	10,790	11,840	10,975
負 債 合 計	29,547	32,302	27,376
<b>純資産の部</b>			
株 主 資 本	33,360	35,818	31,722
資 本 金	18,357	18,357	18,357
資 本 剰 余 金	12,151	17,077	16,232
利 益 剰 余 金	2,912	440	△ 2,808
自 己 株 式	△ 60	△ 56	△ 58
評価・換算差額等	△ 433	△ 1,552	△ 565
新 株 予 約 権	112	68	100
少 数 株 主 持 分	298	414	441
純 資 産 合 計	33,337	34,749	31,698
負 債 純 資 産 合 計	62,884	67,052	59,075

■ 総 資 産 (単位: 百万円)  
■ 純 資 産 (単位: 百万円)  
● 1株当たり純資産 (単位: 円)



### ✓ 総 資 産

総資産は、前連結会計年度末に比べ3,808百万円増加し、62,884百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少2,520百万円、受取手形及び売掛金の増加5,978百万円、有形固定資産の増加531百万円などでありま

● 連結損益計算書 (単位: 百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (平成21年10月1日から 平成22年3月31日まで)	前年同期 (平成20年10月1日から 平成21年3月31日まで)	前 期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売 上 高	43,242	44,811	33,104
売 上 原 価	25,682	27,629	23,267
返 品 調 整 引 当 金 繰 入	598	1,012	—
返 品 調 整 引 当 金 戻 入	—	—	1,005
売 上 総 利 益	16,961	16,169	10,842
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	13,508	13,102	13,455
営業利益又は営業損失(△)	3,452	3,066	△ 2,613
営 業 外 収 益	200	167	218
営 業 外 費 用	269	200	226
経常利益又は経常損失(△)	3,383	3,033	△ 2,621
特 別 利 益	30	1,867	31
特 別 損 失	856	5,097	437
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	2,557	△ 196	△ 3,027
法人税、住民税及び事業税	645	205	168
法 人 税 等 調 整 額	12	8	26
少 数 株 主 利 益	46	30	27
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益 又は四半期(当期)純損失(△)	1,852	△ 440	△ 3,249

✓ 売 上 高

売上高は、前年同期に比べ1,568百万円減少の43,242百万円となりました。これは、高齢者福祉・子育て支援事業が伸長し、また、学習塾運営会社など数社が新たに連結子会社に加わったものの、既存事業の売上の減少や不採算事業の縮小・撤退などがあったことによるものであります。

✓ 営 業 利 益

営業利益は、前年同期に比べ385百万円増加の3,452百万円となりました。これは、事業構造の見直し、人件費やソフトウェア費用などの固定費削減効果によるものであります。

✓ 経 常 利 益

経常利益は、前年同期に比べ349百万円増加の3,383百万円となりました。

● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (平成21年10月1日から 平成22年3月31日まで)	前年同期 (平成20年10月1日から 平成21年3月31日まで)	前 期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	708	△ 3,848	2,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,274	1,977	△ 1,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,554	△ 197	△ 1,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	△ 60	19
現金及び現金同等物に係る増減額 (△は減少)	△ 3,131	△ 2,129	14
現金及び現金同等物の期首残高	12,354	14,385	12,446
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	14	190	△ 106
現金及び現金同等物の期末残高	9,237	12,446	12,354

✓ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、708百万円の資金増加となりました。これは、売上債権の増加5,984百万円があるものの、税金等調整前四半期純利益の計上2,557百万円、仕入債務の増加額2,333百万円、引当金の増加701百万円などの資金増加によるものであります。

✓ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,274百万円の資金減少となりました。これは担保預金の解約による収入1,000百万円があるものの、担保預金の預入支出1,573百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出1,370百万円などの資金減少によるものであります。

✓ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,554百万円の資金減少となりました。これは社債の償還1,110百万円などの資金減少によるものであります。

## 会社概要 (平成22年3月31日現在)

### ● 会社の概要

商号	株式会社学研ホールディングス (英文表示 GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)
設立	昭和22年3月31日
資本金	18,357,023,638円
従業員	1,945名(連結)
本店所在地	〒141-8510 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL. 03-6431-1001(代表)
ホームページURL	<a href="http://www.gakken.co.jp/">http://www.gakken.co.jp/</a>

### ● 取締役および監査役

地 位	氏 名
代表取締役社長	遠藤洋一郎
専務取締役	富樫 文夫
取締役	古岡 秀樹
取締役	木村 路則
取締役	中森 知
取締役	宮原 博昭
社外取締役	川崎 隆司
常勤監査役	本間 明雄
常勤監査役	和田 晴夫
社外監査役	山田 徳昭
社外監査役	桜井 修平

### ● 執行役員

地 位	氏 名
上席執行役員	小野寺哲也
上席執行役員	岩井 英夫
上席執行役員	荒木 勝彦
上席執行役員	須摩 春樹
執行役員	工藤 徳治
執行役員	鈴木 祥夫
執行役員	太丸 伸章
執行役員	堀 昭
執行役員	川又 敏男

16

## 株式の状況 (平成22年3月31日現在)

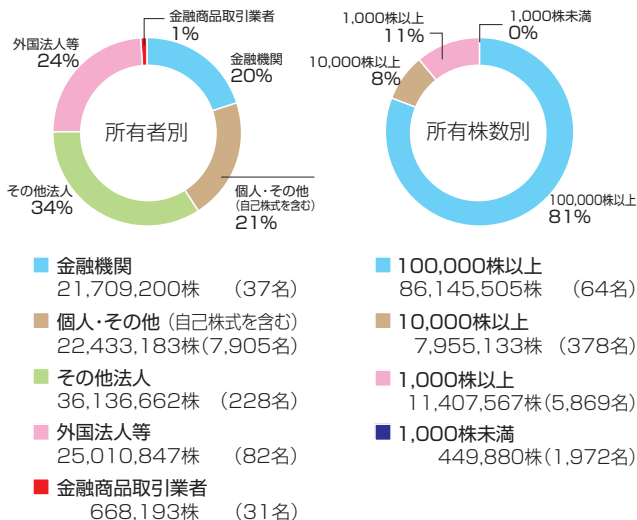
### ● 株式の状況

発行可能株式総数	399,164,000株
発行済株式の総数	105,958,085株
株主数	8,283名

### ● 大株主(上位10名)

株主名	当社株式の所有状況 持株数(千株)	持株比率(%)
ロイヤルバンクオブカナダトラスト カンパニー(ケイマン)リミテッド	20,997	19.81
財団法人古岡奨学会	13,888	13.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,544	4.28
凸版印刷株式会社	3,234	3.05
学研取引先持株会	3,219	3.03
株式会社廣済堂	3,204	3.02
株式会社三井住友銀行	3,000	2.83
株式会社明光ネットワークジャパン	2,844	2.68
大日本印刷株式会社	2,368	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,260	2.13

### ● 株式の分布状況



17

株主メモ	事業年度	10月1日～翌年9月30日 ※事業年度の変更に伴い、定時株主総会、配当金受領株主確定日、基準日が変更になっております。
	定時株主総会	12月
	配当金受領株主確定日	期末配当金－9月30日 中間配当金－3月31日
	基準日	定時株主総会については9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
	公告掲載	電子公告により、当社ホームページ（http://www.gakken.co.jp/）に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により、電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
	単元株式数	1,000株
	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先)		東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号（〒137-8081） 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711（フリーダイヤル） ☎ 0120-244-479（用紙請求）
同取次所		三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

**！**  
1,000株  
(単元)  
未満の  
株式を  
ご所有の  
株主様へ

**Q. 単元未満株式を処分するにはどうしたらよいですか？**

A. 株券電子化の際、株券保管振替制度を利用されなかった場合、現在お持ちの単元未満株式は、特別口座でお待ちしていますので、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へ、買取請求をお申し出ください。証券会社の口座で所有されている場合は、当該証券会社へお申し出ください。

**Q. 特別口座から証券会社の口座に振り替えるにはどうしたらよいですか？**

A. 証券会社に口座開設をした後に、三菱UFJ信託銀行へお申し出ください。振替手続に手数料はかかりません。

**Q. 各種手続の窓口は？**

A. 上記のほか、特別口座でのご所有株式に関する住所変更その他各種お手続の窓口、お取扱場所は株主メモ欄のとおりです。

※ 特別口座以外でのご所有株式に関する各種お手続は、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

ホームページもご覧ください。



学 研

検索

学研ホールディングスホームページ URL  
http://www.gakken.co.jp/

学研グループはチャレンジ25  
キャンペーンに参加しています。



環境保全のためFSC認証紙と植物油  
インキを使用して印刷しています。



JQA EM5778